

2018年度(対象年度:2017年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学研究科
--------	----------

基準1	理念・目的
-----	-------

1. 点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0101	大学の基本理念・使命・教育目的を適切に設定していますか。また、それを踏まえ、学部・研究科の教育研究上の目的を適切に設定していますか。	(2)学部(学科)・研究科(専攻)の教育研究上の目的は、教育組織の特色を明確にしたものですか。	A
		(3)学部(学科)・研究科(専攻)の育成する人間像は、明確ですか。	A
		(4)学部(学科)・研究科(専攻)の教育研究上の目的と大学の基本理念・使命・教育目的は、関連性があるものになっていますか。	C
0102	大学の基本理念・使命・教育目的および学部・研究科の教育研究上の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員および学生に周知し、社会に対して公表していますか。	(1)学部(学科)・研究科(専攻)の目的や人間像は、適切な媒体を使って明示していますか。 ・明示媒体(例えば学生便覧とHPなど)によって記述の齟齬	B
		(2)教職員、学生、社会に対する刊行物、ウェブサイト等により大学の基本理念・使命・教育目的、学部・研究科の教育研究上の目的等が周知および公表されていますか。 ・構成員(教職員および学生)への周知	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。	
0101	研究科の教育研究上の目的及び育成する人間像をホームページ[0101-0102a]や大学院学生便覧[0101-0102b, iv 頁]で明確に記述しているが、大学の基本理念・使命・教育目的[0101c]は前提と考えて反映させていないため関連性は乏しい。
0102	研究科の目的や人間像は中部大学ホームページ[0101-0102a]や大学院学生便覧[0101-0102b, iv 頁]で明示・周知・公表しており、研究科のホームページ[0102b]の概要にも分かり易い記述の中で紹介している。大学院学生便覧[0101-0102b, i 頁, iv 頁]が構成員への周知を果たしている。
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	

項目 No.	
課題事項	《箇条書き》 *向上すべき点、改善すべき点
項目 No. 0101	大学の基本理念・使命・教育目的は前提と考えて研究科の目的や人間像に反映させていないが、 連関性を持たせるために反映すべきかどうかを検討する必要がある。
項目 No.	

### 3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組	*成果の有無を問わない
未着手	

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策 (到達目標を含む)
0101	学部の目的や人間像の記述を検討する。大学の基本理念・使命・教育目的との連関性を感じさせることを目標とする。

### 4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
0101-0102	a	A	教育研究上の目的と人間像
0101-0102	b	A	大学院学生便覧 2017
0101	c	A	大学の基本理念使命教育目的
0102	a	A	研究科ホームページ概要

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

年度(対象年度:2017年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学研究科
--------	----------

基準2	内部質保証
-----	-------

1. 点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0203	方針および手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能していますか。	(4)外部評価(学内内部評価を含む)を自己点検・評価に取り入れていますか。	D

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。	
大学院組織としての外部評価は昨年度実施されていない。外部評価を受審したのは、本学が日本高等教育評価機構に認証評価を受けたのは2014年度である[0203a]。しかし、この時も大学院の自己点検は行ったが[0203b]、外部評価は大学全体としての評価に留まり[0203c]、大学院ごとの具体的な点まで言及されておらず、PDCA サイクルを回すようなどころまで到達していない。	
長所・特色	《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの
項目 No.	
項目 No.	
課題事項	《箇条書き》 *向上すべき点、改善すべき点
項目 No.	学内内部評価でいいので外部評価を実施すべきと考える。
項目 No.	

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組	*成果の有無を問わない
現在取り組んでいるこの自己点検・評価業務がまさに改善の取り組みであり、春学期末までに、学内に設置されたピアレビュー委員会において、組織単位の評価を受けることとなる。その後、評価結果を受けて、改善策を策定し、実施する予定である。	

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）
0203	大学院自己点検・評価の実施とそれに基づく PDCA サイクルの運用

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
0203	a	A	大学機関別認証評価 大学 HP <a href="https://www3.chubu.ac.jp/about/evaluation/jiheer/">https://www3.chubu.ac.jp/about/evaluation/jiheer/</a>
0203	b	A	平成 26 年度大学機関別認証評価自己点検評価書（該当箇所 p.26-27）
0203	c	A	中部大学平成 26 年度大学機関別認証評価評価報告書

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料    B：現部署で保管

2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学研究科
--------	----------

基準 4 教育課程・学習成果(1)

1. 点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0401	授与する学位ごとに、卒業認定・学位授与の方針(DP)を定めて、公表していますか。	(1)課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した卒業認定・学位授与方針(DP)の適切な設定を行い、公表をしていますか。 ・当該学位にふさわしい学習成果の設定 ・卒業認定・学位授与方針(DP)の設定	A
0402	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針(CP)を定めて、公表していますか。	(1)学位ごとに、教育課程の体系、教育内容を備えた編成・実施方針の設定になっていますか。	A
		(2)学位ごとに、教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等を備えた編成・実施方針の設定になっていますか。	A
		(3)授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を社会に対し、公表していますか。	A
		(4)卒業認定・学位授与の方針(DP)と教育課程編成・実施の方針(CP)は適切な連関性となっていますか。 ・「卒業認定・学位授与の方針(DP)」⇔「教育課程の編成・実施方針(CP)」との整合	A
0403	教育課程の編成・実施方針(CP)に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していますか。	(1)教育課程の編成・実施方針(CP)と教育課程の整合性はとれていますか。	A
		(2)教育課程の編成にあたっての順次性および体系性への配慮をしていますか。(ナンバリング、カリキュラムマップ)	A
		(3)単位制度の趣旨に沿った単位の設定をしていますか。	A
		(4)個々の授業科目の内容および方法は適していますか。	A
		(5)授業科目の位置づけ(必修、選択等)は適切ですか。	A

0403	教育課程の編成・実施方針(CP)に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していますか。	(6)各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 【学士課程】 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 【修士課程、博士課程】 コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	B
		(7)学生の社会的および職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	B

## 2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0403 大学院教務委員会を開催し、大学院教育について審議、提案し、研究科委員会で決定している。大学院教務委員会、研究科委員会の議を経て検証を行い、自己点検を行っている。	
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0403	「知的財産権特論」科目を設けた。
項目 No. 0403	年2回の中間発表会の充実化
課題事項 《箇条書き》 *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No.	
項目 No.	

## 3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

### <向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない	
学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うために、大学院教務委員会において、協議し、語学科目の内容の充実化を図った。また、CPを達成するために、2017年度より、応用生物学基礎科目として、知的財産権特論を新たに設けた。	
根拠資料 学生便覧 授業科目及び単位数 シラバス[0403a][0403b][0403c]	

### <今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）

#### 4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料 記号	提出 区分	根拠資料の名称
No.0403	a	A	学生便覧 <a href="https://www2.chubu.ac.jp/current_students/curriculum_section/pdf/binran_graduate_2017.pdf">https://www2.chubu.ac.jp/current_students/curriculum_section/pdf/binran_graduate_2017.pdf</a>
No.0403	b	A	知的財産論シラバス
No.0403	c	A	特別海外語学研修シラバス

提出区分 … A : 本シートと一緒に提出する資料    B : 現部署で保管

2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学研究科
--------	----------

基準 4 教育課程・学習成果 (2)

1. 点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0404	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じていますか。	(1)各学位課程の特性に応じた単位の実質化を図るため、1年間又は学期ごとの履修登録単位数の上限設定等の措置を講じていますか。	C
		(2)シラバスに次の内容を組み込んでいますか。また、授業はシラバスどおりに行なわれていますか。 ・授業の目的、達成目標、学習成果の指標、授業内容および方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法および基準等の明示 ・授業内容とシラバスとの整合性の確保	A
		(3)学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法を講じていますか。	B
		(4)授業の編成および管理運営は適切に行っていますか。 <b>【学士課程】</b> ・授業形態に配慮した1授業あたりの受講者数になるように授業の編成を行っていますか。 ・履修指導等のガイダンスは適切に実施していますか。 <b>【修士課程、博士課程】</b> ・研究指導計画（研究指導の内容および方法、年間スケジュール）を明示していますか。また計画に基づく研究指導を行うように取り組んでいますか。	A
0405	成績評価、単位認定および学位授与は適切に行っていますか。	(1)シラバスに掲げている「達成目標」に基づき、成績評価がなされていますか。 ・シラバス記載の「達成目標」「成績評価方法」に基づく成績評価	A
		(2)既修得単位の認定は、明確な定めに基づき適切に行われていますか。 ・規程等に基づく単位認定のプロセス	A
		(3)成績評価の客観性、厳格性を組織的に確認していますか。	B



0405	成績評価、単位認定および学位授与は適切に行っていますか。	(4) 卒業・修了要件を明確に定めていますか。	A
		(5) 学位論文審査がある場合、学位論文審査基準が明確に示されていますか。	A
		(6) 学位審査および修了認定の客観性および厳格性を確保するためにどのような措置を施していますか。	A
		(7) 学位授与に係る責任体制および手続は明確に示されていますか。	A
		(8) 適切な学位授与を行っていますか。	A

## 2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0404・0405 大学院教務委員会を開催し、大学院教育について審議、提案し、研究科委員会で決定している。大学院教務委員会、研究科委員会の議を経て検証を行い、自己点検を行っている。	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0404	年2回の中間発表会を行い指導教授に加えて研究科の全教員による助言を受ける体制を作ってきた。
項目	
課題事項 <<箇条書き>> *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No.0405	審査基準を明文化する
項目 No.	

## 3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）

## 4. 根拠資料

項目 No.	根拠資 料記号	提出 区分	根拠資料の名称

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料    B：現部署で保管

2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学研究科
--------	----------

基準 4	教育課程・学習成果 (3)
------	---------------

1. 点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0406	卒業認定・学位授与方針(DP)に明示した学生の学習成果を適切に把握および評価をしていますか。	(1)学生の学習成果を測るための指標を定め、成果を確認していますか。 ・学習成果を測るための評価方法や評価指標	A
		(2)成績分布、試験放棄(登録と受験の差)、進級などの実績を学部・学科として把握していますか。 ・学習成果に関する情報の把握と共有	C
		(3)学習成果を把握および評価するために、どのような方法を用いていますか。 《学習成果の測定方法例》 ・アセスメント・テスト ・ループリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	B
0407	教育課程およびその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1)適切なエビデンスに基づく点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	C
		(2)点検・評価結果に基づく改善・向上に取り組んでいますか。 ・年度重点目標の設定	C

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。	
0406・0407 研究科独自の測定方法を利用し、学習成果の評価を行っている [0406a]。	
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0406	学習成果の測定を目的とした中間発表会の実施

課題事項 《箇条書き》 *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No. 0407	エビデンスに基づく学習成果の点検・評価を研究科全体としては行っていない。

### 3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない	
エビデンスに基づく学習成果の点検・評価を研究科全体として行っていない。	

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策 (到達目標を含む)
No. 0407	測定結果に基づいた評価、およびそれに基づく目標設定の実施

### 4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
No.0406	a	B	中間発表会の評価シート (研究科事務室にて保管)

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学研究科
--------	----------

基準 5	学生の受け入れ
------	---------

1. 点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0501	入学者受入れの方針(AP)を定めて、公表していますか。	(1) 卒業認定・学位授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)を踏まえた方針となっていますか。	A
		(2) 明示媒体によって、記述に齟齬はありませんか。 ・入試要項と HP 等の媒体間の記述の統一	A
		(3) 社会に対し公表していますか。	A
		(4) 下記内容を踏まえた入学者受入れの方針(AP)の設定となっていますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	A
0502	入学者受入れの方針(AP)に基づき、学生募集および入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施していますか。	(1) 入学者受入れの方針(AP)と入試形態は整合していますか。 ・求める学生像と入試形態との整合	A
		(2) 入学者受入れの方針(AP)に基づき、大学教育を受けるための能力・適性等を判定できる入学者選抜の方法を採用していますか。 ・教育課程の編成・実施方針(CP)と学生募集方法、入学者選抜方法の連関 ・入学者選抜において透明性を確保するための措置	A
		(3) 入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制の適切な整備はなされていますか。	B
		(4) 公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(5) 入学希望者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A
0503	適切な定員を設定し、入学者の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していますか。	(1) 入学定員および収容定員の適切な設定と在籍学生数を管理していますか。 <b>【修士課程、博士課程】</b> ・収容定員に対する在籍学生数比率	A

0504	学生募集および入学者選抜は、入学者受入れの方針(AP)に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っていますか。	(1) 学生募集や入学者選抜方法の適切性について検証していますか。 ・学部内委員会等においてエビデンスに基づいた定期的な検証	B
		(2) 点検・評価結果に基づいた改善・向上を行っていますか。 ・年度重点目標の設定	C

## 2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0501 大学院入学者受入れの方針(AP)は、毎年研究科委員会において確認されている。学位授与の方針(DP)や教育課程編成・実施の方針(CP)との齟齬についても、同様に確認されている。[0501a], [0501b] AP、DP、CPはHPで公表されている。[0501c]	
0502 入学者選抜の制度や運営体制については、入試の都度、専攻科長が入試委員を選抜して実施している。合否判定は、研究科委員会を開催してAPに基づき判定している。[0501a]	
0503 大学院生に供与できる実験スペースを考えると、現状での前期課程24名、後期課程6名という収容定員は適切である。在籍学生数比率が100%を超えることはほぼ無い。	
0504 大学院に関する学生募集活動は、院教務委員会が行っている。不定期開催の委員会とメール審議で適切に検証している。入試選抜方法も研究科委員会で適切に検証している。2017年度において、中国の学術協定校から初めて受験生があった。この選抜方法の適切性は今後検証していかねばならない。 学生募集や入試に関する年度の目標は設定していない。	
長所・特色 ≪箇条書き≫ *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	
項目 No.	
課題事項 ≪箇条書き≫ *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No.0502	大学院に関する入試委員会は存在しない
項目 No.0504	中国人留学生の入試選抜法に関する適切性 年度重点目標の設定

## 3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない	
2017年度は行わなかった。	

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）

--	--

#### 4. 根拠資料

項目 No.	根拠 資料 記号	提出 区分	根拠資料の名称
0501・0502	a	A	2017年度大学院学生便覧.pdf
0501	b	A	平成30年度大学院入学試験要項.pdf
0501	c	A	3つのポリシー.pdf
0504	e	A	応用生物学研究科学術交流協定機関特別試験事前審査・入試選抜規定

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料    B：現部署で保管

2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学研究科
--------	----------

基準 6	教員・教員組織
------	---------

1. 点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0602	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制していますか。	(1)大学全体および学部・研究科等ごとの専任教員数は、適切ですか。	A
		(2)教育理念・目的を実現できる教員組織を編制していますか。(方針等に基づく組織編制の明確化) ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員(教授、准教授、講師または助教)の適正な配置 ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置(国際性、男女比等も含む) ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	A
		(3)学士課程における教養教育の運営体制を整備していますか。	A
0603	教員の募集・採用・昇格等を適切に行っていますか。	(1)教員人事関連規程が整備され、適切な手続きによる運用をしていますか。 ・教員の募集・採用・昇格等に関する規程の整備および手続きの設定	C
		(2)規程等に従った適切な教員人事(募集、採用、昇任等)を実施していますか。	A
0604	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげていますか。	(1)FD 活動を組織的に実施していますか。	A
		(2)点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	A
0605	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1)適切なエビデンスに基づく点検・評価を実施していますか。	B
		(2)点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	C



## 2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施している、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0602 (1)博士前期課程の定員 48 名ならびに博士後期課程の定員 18 名に対し (0602a)、講師以上の教員は前期課程 45 名、後期課程 39 名が専任教員として在籍しており (0602b)、博士課程における教員当たりの学生数は 2 人以下で教育研究活動を実施するのに十分な教員数を確保している。(2)主要科目の担当は専任教員が専門分野に応じて研究科の目的に沿って適性に配置している。大学院学生指導にかかわる資格認定は全学レベルで実施されている。年齢構成もバランスが取れている (0602b) (3)教養教育では博士課程に必要な英語のみを課している。	
0603 昇格についての規程 (0603a) はあるが、募集・採用に関する規定は研究科では定めていない。昇格については規程に従って人事を行っている。	
0604 FD 活動においては全学の FD 委員会に委員を出し、全学レベルの FD 活動と連携して FD 委員を中心に FD 講演会等や自己点検評価を実施するとともに前年度の評価点検に基づいた年度重点目標の設定を行っている (0604a)。	
0605 全学レベルで年度当初における重点目標設定と年度末における自己点検・評価を実施しており、エビデンスに基づく点検・評価を実施しているが、教員組織全体としてのエビデンスに基づく点検・評価や組織的な目標設定をした改善・向上には至っていない。	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No.0603	募集・採用に関する規定を研究科・学部で検討する必要がある。
項目 No.0605	教員組織全体としてのエビデンスに基づく点検・評価や組織的な目標設定をした改善・向上を検討する必要がある。

## 3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない
未着手

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策 (到達目標を含む)
0603	募集・採用に関する規定を研究科・学部で検討し、明確化する。
0605	学部の教員組織についてエビデンスに基づく点検・評価法や組織的な目標設定をした改善・向上策を明確化する。

## 4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
0602	a	A	応用生物学研究科 0602a : 在籍者数
0602	b	A	応用生物学研究科 0602b : 大学院応用生物学研究科担当教員表

0603	a	B	昇任規程
0604	a	B	FD 報告書案
0605	a	B	教育活動重点目標・自己評価シート

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料    B：現部署で保管

年度(対象年度:2017年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学研究科
--------	----------

基準7	学生支援
-----	------

1. 点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0702	学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備していますか。また、学生支援は適切に行っていますか。	(2)学生の修学に関する適切な支援を実施していますか。 ・学生の能力に応じた補習教育、補充教育 ・正課外教育 ・留学生等の多様な学生に対する修学支援 ・障がいのある学生に対する修学支援 ・成績不振の学生の状況把握と指導 ・留年者および休学者の状況把握と対応 ・退学希望者の状況把握と対応	A
		(4)学生の生活に関する適切な支援を実施していますか。 ・学生の相談に応じる体制の整備 ・ハラスメント防止のための体制の整備および啓発活動 ・心身の健康維持・増進および安全への取り組み ・生活支援面において、方針の目的(安全で安定した学生生活を送るための基盤整備等)の支援	B
		(5)学生の進路に関する適切な支援を実施していますか。 ・学生のキャリア支援を行うための体制(学部との協力・連携を含む)の整備 ・進路選択に関わる支援やガイダンスの実施 ・キャリア支援講座などの実施	A
		(6)インターンシップは十分に実施していますか。	B
		(8)学生の要望に対応した学生支援を適切に実施していますか。 キャリア支援、保健管理、スポーツおよび文化活動の強化	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。
--

大学院生の修学に伴う支援として、環境整備は年度ごとに適切に行っている。具体的には、デスクワークと実験用のスペースを年度ごとに個々の学生に対して割り振っている[0702a]。また、応用生物学研究科では大学院生に対し、主指導教授のほかに副指導教授を2名配置し[0702b]、日ごろから協力する体制をとるとともに、年に2回行われる研究中間報告会ではその進捗状況を全教員に評価して頂ける機会を設けている[0702c]。就職指導に関してもキャリア支援課から報告される進路状況表を教授会資料として教員全体で共有した[0702d]。問題のある学生に関しては、研究科長主導のもと主指導教授の変更などの措置をして、適切に対応している。ただ、これらの取り組みを客観的に評価し、改善する試みはなされていない。本自己点検評価の取り組みがPDCAサイクルを動かす大きな原動力になることを期待している。	
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0702	副指導教授2名を配置し、複数教員で指導する体制をとっていることは非常に有効である。
項目 No. 0702	研究中間報告会の実施は学生のプレゼン能力を向上させる良い機会であるとともに、問題のある学生の修学環境を見直す良い機会を与えることができている。
課題事項 《箇条書き》 *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No. 0702	就職活動が長引き、修士論文研究に支障をきたす場合がある。できるだけ早く内定を得られるようキャリア支援を充実させる。
項目 No. 0702	短期留学研修などのプログラムを充実させ、海外でも活躍できる学生を育成できる環境を整える。

### 3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

#### <向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない	
フィジー国立大学研修制度を設立し、応用生物学部・応用生物学研究科独自の留学プログラムを運用開始した[0702e]。 フエ大学（ベトナム）との部門間協定を締結した[0702f]。	

#### <今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）
0702	フエ大学（ベトナム）との交換留学プログラムの策定

### 4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
0702	a	A	2017年度大学院生スペース
0702	b	A	2017年4月応用生物学部・応用生物学研究科教授会資料 (p.2)
0702	c	A	中部大学応用生物学研究科 HP 2017年度第1回大学院中間発表会が開催されました 中部大学応用生物学研究科 HP <a href="https://www3.chubu.ac.jp/graduate/biology/news/13972/">https://www3.chubu.ac.jp/graduate/biology/news/13972/</a>
0702	d	A	2017年9月応用生物学部・応用生物学研究科教授会資料 (p.5)
0702	e	A	2017年6月応用生物学部・応用生物学研究科教授会資料 (p.31-32)
0702	f	A	中部大学応用生物学部 HP ベトナム国フエ大学と部門間協定を締結 中部大学応用生物学部 HP <a href="https://www3.chubu.ac.jp/biology/news/23463/">https://www3.chubu.ac.jp/biology/news/23463/</a>

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

年度(対象年度:2017年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学研究科
--------	----------

基準 8	教育研究等環境
------	---------

1. 点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0802	教育研究等環境に関する方針に基づき、必要な校地および校舎を有し、かつ運動場等の教育研究活動に必要な施設および設備を整備していますか。	(1)教育課程の特徴、学生数、教育方法に応じた施設・設備の充実を図っていますか。	B
0806	教育研究等環境の適切性について定期的に点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1)適切なエビデンスに基づく点検・評価を実施していますか。	B
		(2)点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0802 昨年度は平成 28 年度に大学で策定された先端教育環境整備充実事業の計画に則り、学生院生共用研究機器室の整備が行われた[0802a, 0802b]。比較的利用率の低かった場所をより多くの学生が利用できるような施設システムに改修し、分析装置など共用性の高い機器を集約した。学生院生共用研究機器室の整備は本年度を含む2カ年計画なので、まだ自己点検評価をする段階まで到達していない。また、大学院生の修学に伴う支援として、環境整備は年度ごとに適切に行っている。具体的には、デスクワークと実験用のスペースを年度ごとに個々の学生に対して割り振っている[0802c]。ただ、これらの取組みを客観的に評価し、改善する試みはなされていない。本自己点検評価の取組みがPDCAサイクルを動かす大きな原動力になることを期待している。	
長所・特色 << 箇条書き >> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0802	学生院生共用研究機器室の設置は学部内の設備を有効活用でき、個々の研究者が研究設備を購入しなくても良くなるため、応用生物学研究科の研究力を向上させることができる。
項目 No.	
課題事項 << 箇条書き >> *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No.	学生院生共用研究機器室・大学院生スペースの運用に関して、PDCAサイクルを回す。
項目 No.	

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない
学生院生共用研究機器室の整備に関しては、施錠システム、機器予約システム、防犯カメラの設置を行った。

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策 (到達目標を含む)
0802	スペースをより効率的に、学生・教員双方にとって便利となるよう、十分に考えて配置する。

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
0802	a	A	先端教育研究整備充実 WG 活動報告
0802	b	A	先端教育研究環境整備 実行計画 (案)
0802	c	A	2017 年度大学院生スペース

提出区分 … A : 本シートと一緒に提出する資料 B : 現部署で保管

年度(対象年度:2017年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学研究科
--------	----------

基準9 社会連携・社会貢献

1. 点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0902	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していますか。また、教育研究成果を適切に社会に還元していますか。	(2)社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	A
		(3)地域交流・国際交流事業への参加などに取り組んでいますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施している、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
応用生物学研究科では事業計画に従い[0902a]、夢構想事業の1つ食環境創造センターを設立した。このセンターは生物機能開発研究所内に付置され、食品プラント、植物工場、給食実習設備を有機的に結び付ける組織である。植物工場では春日井商工会議所とともに『春日井サボテンプロジェクト』を推進しており、食品プラントを利用したサボテン加工食品の開発も行っている[0902b-d]。また、愛知県農業総合試験場や愛知県ペストコントロール協会と協定を締結しており[0902e-f]、他には、日本食品衛生学会東海北陸ブロックと公開講演会を共催し、食品衛生における最新の情報を提供するなどしている[0902g]。ただ、これらの取り組みを客観的に評価し、改善する試みはなされていない。本自己点検評価の取り組みがPDCAサイクルを動かす大きな原動力になることを期待している。	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0902	『春日井サボテンプロジェクト』は春日井市の特産品を活用した地域独自の研究であり、地域の活性化に大いに貢献している。
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No. 0902	活動を客観的に評価し、PDCAサイクルを回すこと。
項目 No.	

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 \*成果の有無を問わない

それぞれの活動についてできる限り、HPなどで公表し、外部から意見を頂ける素地を作る。

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）
0902	より積極的に社会連携を進め、研究成果を地域に還元するとともに、学生たちにより多くの社会経験をさせて『不言実行、あてになる人間』の育成を推し進める。

#### 4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
0902	a	A	2017年7月応用生物学部・応用生物学研究科教授会資料 (p.20)
0902	b	A	中部大学応用生物学部 HP 堀部研究室 サボテンのまち 中部大学応用生物学部 HP <a href="https://www3.chubu.ac.jp/faculty/horibe_takanori/kasugai/">https://www3.chubu.ac.jp/faculty/horibe_takanori/kasugai/</a>
0902	c	A	中日新聞 2018年2月9日_サボテン料理試食会
0902	d	A	中日新聞 2018年3月6日_春日井サボテンサミット
0902	e	A	愛知県 HP 農業総合試験場 研究協力協定 愛知県 HP <a href="http://www.pref.aichi.jp/soshiki/nososi/0000053242.html">http://www.pref.aichi.jp/soshiki/nososi/0000053242.html</a>
0902	f	A	中部大学応用生物学部 HP 愛知県ペストコントロール協会と連携協定を締結 中部大学応用生物学部 HP <a href="https://www3.chubu.ac.jp/biology/news/23007/">https://www3.chubu.ac.jp/biology/news/23007/</a>
0902	g	A	第2回日本食品衛生学会東海北陸ブロック公開講演会チラシ

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管



2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	応用生物学研究科
--------	----------

基準 11	大学独自の評価項目
-------	-----------

1. 点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っていますか。	(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
研究科委員会への議事は事前に主任会で協議する[1120a][1120b]。教員資格審査委員会、奨学金選考委員会等を設置し、委員会構成及び適切な手続きの手順について、主任会において事前協議・承認を得た上で研究科委員会の承認を得ている。諸会議の通知はメールにより事前通知し、議事録は議長の承認を得て本部へ提出している[1120c][1120d]。	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No.	
項目 No.	

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

< 向上・改善の進捗状況 >

対象年度における取組 *成果の有無を問わない

< 今後の向上・改善計画 >

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）
1120	諸委員会規定の整備

#### 4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
1120	a	A	中部大学大学院応用生物学研究科委員会規程
1120	b	A	応用生物学部・研究科主任会申し合わせ
1120	c	B	研究科委員会議事録
1120	d	B	決裁文書

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料    B：現部署で保管